

東地区防災協議会だより

第2号

令和7年度版

浜松市東地区防災協議会
自主防災隊集合訓練会場



令和7年度全国統一標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

浜松市標語「防災は みんなで奏でる シンフォニー」

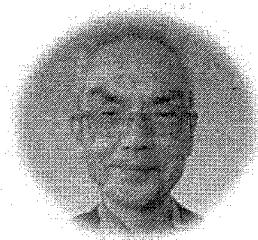
浜松市東地区防災協議会

事務局 浜松市中央区篠ヶ瀬町1374番地
TEL053<460>0119
FAX050<3537>9055

浜松市東地区防災協議会

東地区防災協議会会長

原 利夫



皆様方におかれましては日頃から、地域の安全確保と安心して暮らせる街づくりにご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、火山列島である日本において各地で地震が頻発しており、特に集中豪雨等による洪水・土砂崩れ等の自然災害は相変わらず毎年のように発生しております。

自分自身と大切な人の命を守るためには、どうしたら良いでしょうか。普段から家族で話し合っておきましょう。

また、地域をみんなで支え守るには「向こう三軒両隣」の精神が大切です。いざという時、助け合えるように地域の行事には積極的に参加し、普段から声を掛け合っておきましょう。

行政と一緒に安全で安心して暮らせる街づくりを進めるためには、日ごろから防災について家族や地域で話し合い、準備をしておきましょう。

自宅周辺等の状況を点検し、命を守り共に生き延びることが重要です。

令和6年火災発生状況

令和六年二月一日から十二月三十一日の一年間で、浜松

市では二百十件の火災が発生しています。

東地域では、三十七件の火災が発生しました。

各地区の火災発生件数及び主な原因は次のとおりです。

令和6年
火災発生件数

地区	件数
中央区	157
東地域	37
その他の地域	120
浜名区	36
天竜区	17

令和6年 原因別火災発生件数

順位	原因	件数
1	たばこ	23
1	たき火	23
1	放火及び放火の疑い	23
2	電気機器	12
3	こんろ	11
4	配線器具	10
5	電気配線等	9
6	ストーブ	6
—	その他	93

・電気に関連する火災が増加しています。適切な使用、点検及び清掃に努めましょう。

・たばこの吸い殻は水につけてから捨て、家の周りに燃えやすいものを置かないなど、放火対策にも心掛けましょう。

大災害は自分たちで守ろう

副会長 森田 良信



40度を超す連日の猛暑、大地震による突然の津波警報、集中豪雨による水害と、自然災害の恐怖と被害が年々増加しています。

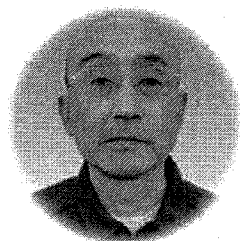
いざ大災害に見舞われた時、我々はどう対応していけば良いのでしょうか。消防団や自主防災組織の活躍をよく耳にします。時には身の危険を顧みず活動する彼らの奉仕活動には、ただただ頭が下がるばかりです。

反面、防災活動に対する無関心・無責任な人たちが増加しているのも現実です。自分の周りではそのようなことは起こらないと思っているのではないのでしょうか。

もし大災害に見舞われたら、支援体制が整うまでには大変時間がかかります。パニックにならず、自分や家族・我が町は自分たちで守るしかないのです。日頃の備蓄や防災知識、活動や住民との協調関係は必ず役に立ちます。どうか日頃から防災活動に対するご理解、ご支援、ご協力をよろしくしくお願いいたします。

熱中症対策、設備の点検と設置場所の確認

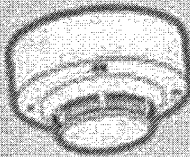
笠井地区自治会連合会副会長 三好 妙繁



今年は、6月から猛暑が続き、熱中症で高齢者の方などが、亡くなっています。家の中でも熱中症になります。高齢者の方は、エアコンを稼働しなくても大丈夫という方がいらっしゃいますが、熱が体内に蓄積され、知らないうちに熱中症になっていますので対策を十分に行ってください。

異常気象により急に雨が降ったり雷が鳴ったり竜巻が発生したりしますので注意してください。防災設備の点検、消火器設置場所の確認、あれば各家庭に消火器を1本設置しておくことと安心です。

私の体験ですが、台所でてんぷら火災を起こしたことがあります。消火器2本とお風呂の残り湯で鎮火しました。消火器設置場所を確認していたおかげです。また、昭和60年、鹿児島島の寮の隣接倉庫から出火、消火栓ボックスからホースを出し消火しようとしたが、筒先とホースつなぎ目(布部)に亀裂が生じ消火ができませんでした。倉庫は全焼し寮の一部分の壁等も焼けました。消火設備の点検は大切です。



10年を目安に交換を!



点検の仕方

- 住警器にある「引きひもをひく」または「ボタンを押す」ことで、警報音が鳴ります。
- 警報音がきちんと鳴るかどうか定期的に点検しましょう。

交換の時期

- 住警器の本体及びセンサー等には寿命があり、交換時期はおおむね10年です。
- 点検時に警報音が鳴らないときは、電池切れや故障している場合がありますので、その際は交換が必要です。



住警器の設置状況のアンケート実施中!

設置に関するお問い合わせ

- 予防課 475-7451
- 西消防署 592-0134
- 浜北消防署 586-0119
- 中消防署 475-7561
- 南消防署 442-0119
- 天部消防署 922-0119
- 東消防署 460-0119
- 北消防署 527-0119



浜松市議会議員 遠山 将吾



浜松市東地区の皆様には、日頃より地域防災活動および当協議会の取り組みにご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

近年、気候変動の影響で、各地で自然災害が頻発しています。遠州灘に面した浜松市においても、津波や風水害への備えは欠かせません。

幸い本年は大きな災害は発生していませんが、常に「もしも」に備える姿勢が何よりも重要です。

これまで培ってきた自主防災の力をさらに高め、地域ぐるみの実践的な活動へと繋げていくために、引き続き皆様のお力添えをお願い申し上げます。

私も協議会顧問・市議会議員として現場に足を運び、自ら汗をかき、地域防災力の向上に全力で取り組んでまいります。

一緒に「災害に強い東地区」を築いていきましょう。

台風15号

顧問 高林 修



台風15号は牧之原市、吉田町の竜巻など多くの被害をもたらしました。ニュースで見ると牧之原市の被災住宅の現状は目を覆うものがありました。浜松市でも80代の男性が水路に落ち、残念ながら浜名湖で遺体となって発見されました。

今年も線状降水帯のたび重なる発生、強風など予想を超える気象現象が生活を脅かしています。今私たちにできることは、無理な外出は避けること、いざという時の災害グッズの見直しと準備です。

浜松市は多くの企業・団体と災害対策協定を結んでいます。行政だけではカバーできず、多くのボランティアの方々にも支えられているのですが、まず自助・共助の精神が必要です。

そのためにも、あらためて自治会活動への参画もお考えいただきたいと思えます。

大規模災害に備えて

顧問 鈴木 真人



3年前の台風15号の豪雨では、道路冠水、床上・床下浸水等の多くの被害が発生しました。そのため、県と市の流域治水対策を加速させていく必要があります。皆様には、防災情報に気を配り、もしもの際には最優先で命を守る行動をお願いいたします。

一方で、昨年8月には南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が初めて発表され、地震に対する防災意識が高まったとの報道がありました。南海トラフ巨大地震は、その被害が東日本大震災を大きく上回る広範囲になると想定されています。旧東区では最大震度7が想定されており、まずは自分の命は自分で守るための行動とあわせ、各家庭での防災対策、水、食料、携帯トイレ等の備蓄をお願いいたします。

消防団は、消火活動のみならず、大規模災害に備え救助ボートやチェンソーを使った救助活動の訓練にも励んでいただいておりますが、担い手不足が課題となっています。地域の防災力を高めておくためにも、今後も消防団活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

浜松市消防音楽隊



第29回定期演奏会

日時：令和8年2月14日13時30分開演予定

会場：アクトシティ浜松大ホール



座席整理券の応募方法は広報はままつ(12月5日号)をご確認ください。

地域住民の皆様へ

浜松市消防団第20分団 分団長 服部 豊



地域住民の皆様におかれましては、日頃より消防団活動へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。私たち消防団は普通の会社員や自営業者など、それぞれの仕事を持つ地域住民で構成されています。管内（和田地区）もしくは隣接地区で発生した火災発生時の消火活動はもちろんのこと、近年は地震や台風による災害に加え、ますます増え続けている異常気象による豪雨災害や水難事故といった大規模災害に対応できるように毎月定期的に早朝から訓練を実施しております。

また、今後発生するであろう南海トラフ地震をはじめ、想像を絶する大規模災害に備え、日頃より地域住民の皆様とともに地元の防災訓練、イベントにも参加し、いざと言う時に皆様と連携できるような努めていきたいと思っております。今後とも地域住民の皆様との期待と信頼に応えるべく活動して参りますので浜松第20分団並びに消防団の活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域住民の皆様へ

浜松市消防団第24分団 分団長 伊藤 倫宏



地域住民の皆様には、日頃より消防団活動に対し、ご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

私は消防団活動を通じて、火災、風水害などの災害は身近であり、突然起こるということを実感しました。7月には津波警報が発表されました。

災害意識を持ち、災害が何時発生しても対応できるよう日頃から備え、行動する準備が大切です。一人ひとり、未然に防げるものは防ぎ、より安全安心な地域にしていきましょう。

消防団の防火防災訓練、救命救急訓練、広報活動を行うことにより、安心して暮らせる地域づくりに貢献できたら幸いです。

また、活動を通じて生まれる地域住民の交流が災害時に大きな力になると感じています。

今後とも24分団並びに消防団の活動にご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

浜松市防災ホッとメール

ほろさいほっとめ〜る

浜松市メール配信サービス「浜松市防災ホッとメール」は、登録された方の携帯電話などに緊急情報、地域情報、気象情報などを電子メールで配信するサービスです。

利用料
無料

(別途通信費はかかります)

●お届けする情報はこちら●

緊急情報

避難準備情報、避難勧告・指示、東海地震の緊急情報など

環境情報

大気汚染情報(光化学オキシダント情報)など

健康情報

感染症(新型インフルエンザ)情報など

防犯情報

市内の警察署からの情報や市からのお知らせ

地域情報

区役所などが同報無線で放送している情報など

注意報・警報

注意報・警報の発表または解除をお知らせ

地震情報

市内で観測した地震の情報をお知らせ

津波情報

静岡県沿岸部の津波注意報・警報の発表または解除をお知らせ

火災情報

火災の発生、鎮火の情報をお知らせ

※注意報・警報、地震情報及び津波情報の3情報については、気象庁から発表される情報を配信します。

●携帯電話の場合●

①バーコードリーダー機能付きの場合、右の「登録用QRコード」を読み取り、空メールを送信すると、「登録案内」のURLアドレスが返信されてきますので、アクセスして「登録案内」に進んでください。
バーコードリーダー機能がない場合は、下の「空メール用アドレス」を直接入力して送信してください(件名、内容は入力不要です。)



空メール用アドレス→ entry@city-hamamatsu.jp

●パソコンの場合●

パソコンから登録される場合は、下記から「登録案内」に進んでください。

パソコン用URL→ <https://service.sugumail.com/hamamatsu/html/>

※パソコンから、携帯電話のアドレスで登録することもできます。

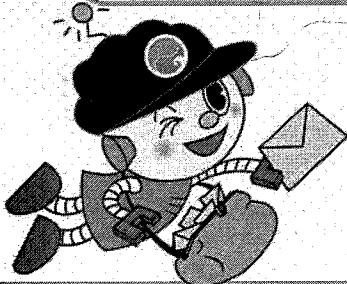
ご質問・お問い合わせはこちらまでお願いします。

登録方法等について
サポートセンター

パソコン用: <https://service.sugumail.com/hamamatsu/faq>
携帯電話用: <https://service.sugumail.com/hamamatsu/faq/m>
TEL:0120-670-970 (平日の9:00~18:00)

防災ホッとメールについて
浜松市 危機管理課

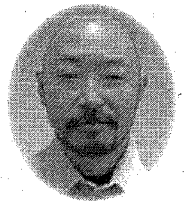
TEL:053-457-2537 (平日の8:30~17:15)
FAX:053-457-2530
メール: bosai@city.hamamatsu.shizuoka.jp



あの人・この人

元消防団第十四分団長

西畑 恵輔さん



将監町にお住いの、元消防団第十四分団長の西畑恵輔さんにお話を伺いました。西畑さんは、平成二十五年に浜松市消防団に入団し、令和五年度から二年間、分団長として手腕を振るわれ、十二年間の長きに渡り地域防災に多大な貢献をされました。消防団に入団したきっかけについてお聞きすると、「地元の先輩に誘われたことを契機に地域に貢献ができればと思い、入団しました。」とお話ししてくださいました。

在団時の思い出をお聞きすると、「たくさんの方々との出会い、訓練、火災出動のほか、出初式などの消防団員でなければできない貴重な経験でした。」と懐かしそうにお話ししてくださいました。

地域防災についてお聞きすると、「近年、何十年に一度のような災害が増えているように感じます。今一度、自分の住んでいる地域の危険地帯を把握し、災害時の対応を家族で話し合っておくと思います。また、近隣住民と日頃から関係性を築いておくことも大切だと思います。」とお話ししてくださいました。

現役消防団員へのメッセージをお聞きすると、「大変な事もあるかもしれませんが、自分たちの住む街の安心、安全を守るため、これからも頑張ってください。」とのことでした。

西畑さんのお話から、消防団活動への愛着と地域貢献に対する強い思いを感じました。

元消防団第二十二分団長

山田 雅秀さん



豊西町にお住まいの、元消防団第二十二分団長の山田雅秀さんにお話を伺いました。山田さんは、平成十九年に浜松市消防団に入団し、令和二年度から二年間、分団長として手腕を振るわれ、十二年の長きに渡り地域防災に多大な貢献をされました。現在は、自営業で自動車整備業に従事している傍ら、浜松市消防団として活躍されておられます。

入団したきっかけをお聞きすると、「引越してきた身であったので、土地感が分からないことや、地域住民とのかかわりがなかったことに不安を感じていましたので、地元の先輩からお誘いを受けたことをきっかけに入団を決意しました。分団長を契機に退団しましたが、分団員の人手不足の実態や地域に貢献する強い意志で再入団を決意しました。」とお話ししてくださいました。

現役消防団員への思いをお聞きすると、「『変わらない地元を災害から守る』ことを念頭におき、地域の防災リーダーとして、自信と誇りをもって消防活動に努めて欲しいと思います。」というお言葉をいただきました。

また、「自治体の協力がなしでは消防活動が成り立たない現状があるため、自治会の方には自主防災訓練を通してご協力をお願いします。それと併せて、若い世代の消防団員の積極的な参加をお願いします。」とのご要望をお伺いしました。

山田さんのお話から、地域や消防団に対する愛情や、地域防災の活性化に向けての熱意が感じられました。

映像通報119とは、119番通報時にスマートフォンを活用し、通報者と消防指令センターとの間で相互に映像の送受信ができる新しい仕組みです。

言葉では説明しづらい災害現場の状況を明確に伝えることで速やかな災害対応に繋がり、また、応急手当が必要な急病人や怪我人に対して、より効果的な応急手当の指導を行えるようになります。

2024年4月1日
運用開始

映像通報 119

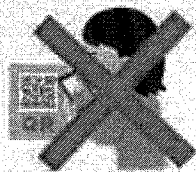
の運用を開始します

事前の登録、設定は必要ありません。119番通報時に、火災、交通事故、重症な患者など、通報内容から指令員が必要と判断した際に、通報者の同意を得た上で利用を案内します。

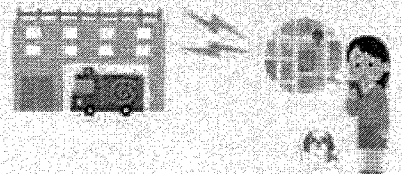
届いたショートメッセージに記載されたURLをタップするだけで利用可能です。



事前の登録やアプリのインストールは必要ありません。



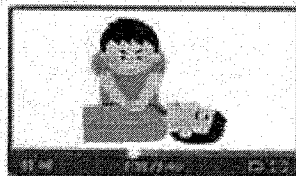
GPSを有効にすることで、位置情報が消防に送られます。



カメラで撮影した映像が消防に送られます。



消防より送信された応急手当の手順等の動画を視聴することもできます。



スマートフォンでご利用可能です。



・送信された映像は、消防指令センターの現場判断、救急隊や消防隊等との情報共有のためのみに使用します。
・映像通報119にかかるパケット通信料(URLへのアクセス及び動画送信等)は通報者の負担となりますのでご了承ください。

浜松市消防局 情報指令課

<お問い合わせ>

E-mail:hfdjoho@city.hamamatsu.shizuoka.jp

TEL : 053-475-7551



映像通報119流れ、操作手順等の詳細は2次元コードを読み取ってください。
浜松市公式ホームページリンク

本当は気づいているんだろ
誰かの役に立ちたいことを
そしてこの街が好きなのを
その気持ちを偽るな
自分を誇れる
自分になれ

WITH PRIDE

わたしの街を守る、わたし。

浜松市消防団員募集

WEB ムービー配信中 [浜松市消防団員募集](#) で 検索



インスタでも
配信中!